

第28回 令和7年5月26日（月）

「24日の土曜日は女子バスケット部の県大会でした。引退のかかった試合でしたがとてもいいゲームがきていたと思います。お疲れさまでした。」

スコアでは離れてしまった感がありますが、ゲーム内容はスコアほど力の差はなかったと思います。スキルの部分では十分戦えていたように思います。

試合を決めたのは多分「徹底」の部分。相手は経験豊富なベンチが勝つためにどうすればいいかを良く知っていて、その指導を日ごろから徹底していたのだと思います。

その意味では勝敗はわかりませんが、点差を縮めることはある程度可能だったと思います。

ただここで言いたいのは川和のバスケットは間違っていないということです。今回短い間でしたが何回も試合を観させていただいて、本当に楽しくて面白いゲームを観ることができました。

「徹底」には個性を犠牲にする部分があります。川和のプレイヤーが自分の持っている個性を存分に発揮して相手に挑んでいく姿をみて、高校スポーツの爽やかさを改めて認識しました。

一人ひとりが得意なことを自由に表現することはとても大切です。強豪チームでやりたいことが制限されて高校で燃え尽きてしまう例は枚挙にいとまがありませんが、川和の3年生はバスケットが好きなまま引退することができると思いますし、形はそれぞれだと思いますが次のフィールドでも活躍できると思います。

一言でいえばまだまだ「伸びしろしかない」というのが3年生に対する私の感想です。これで一区切りつくことになるのだと思いますが、受験が終わったときに体を動かしたくなったらぜひともまたコートに戻ってきてください。

終わりがあれば始まりがあります。次は新チームに時代が移ります。どのようなチームになりたいか、目標を決めて努力を続けてください。

川和のバスケットはこれからも進化していくと思います。男女ともここを強化したいということがあれば私が知っていることは喜んで伝えますので、何でも聞いてください。

また試合を観に行くのを楽しみにしています。3年生お疲れ様、そして新チーム期待しています！